

山梨県丹波山村に軽消防自動車を寄贈

～地域の防災活動、災害対応で活躍する消防団の力として～

一般社団法人日本損害保険協会（会長：船曳 真一郎）では、地域の防火・防災力強化を目的として、全国の市町村および離島に軽消防自動車を寄贈しています。2025年度に寄贈する軽消防自動車10台のうち1台が山梨県丹波山村に寄贈されることになり、2月26日（木）に同村の村役場において、関係者出席のもと、寄贈式が開催されました。

寄贈式では、当協会の大知専務理事から丹波山村の木下村長に目録が、丹波山村消防団の守屋団長にレプリカキーがそれぞれ贈呈されました。大知専務理事からは「今回寄贈する軽消防自動車が、丹波山村の皆様の安心と安全を守り、防災力強化に大きく貢献することを願っております」との挨拶があり、木下村長からは「今回、寄贈いただいた軽消防自動車を地域の防災のため、有効に活用したい」と謝辞がありました。

今回寄贈した軽消防自動車は、軽四輪駆動車をベースとしており、悪路での走行や狭い道路での消火活動に機動的に対応することができ、迅速な消火活動はもとより、平時における巡回・予防活動への貢献も期待されます。

当協会では、今後も地域の安心・安全の向上のための社会貢献活動を行っていきます。

【ご参考】

- ・軽消防自動車など消防資機材については、防災事業の一環として、1952年度から全国の市町村（離島除く）に、1982年度から離島に毎年寄贈しています。
- ・今年度の寄贈により、消防資機材の累計寄贈台数は3,531台となります。



レプリカキーの贈呈



出席者による記念撮影